款 05労働費

項 01労働諸費

目 01労働諸費

事務事業番号

款 U	5労働費		月	ĮUΙ	万 俚	諸費		01労働諸費			事業番号	05010101
	事業名		茧	力労っ	者生:	活安定資金	貸付金	担当部署	3	産業経済部	工業・	雇用振興課
	根拠法令											
令和	3年度決算額			10,	825	千円	項目評価			 有効性		
	国道支出会	È				千円		_		\wedge		
	財 <u>ロセズ田・</u> 源 地方債					千円						
	内その他			10.	825	千円						
	訳 一般財源					千円		将来性《		$\langle \rangle \rangle \rangle \rangle$	効率性	総合評価
事	 業費(総計)			11.	388	千円						
lΓ	決算額				825							Ι Δ
	人件費				563					公平性		^
Pull	事業の目的					 助労者に対し	ン、金融機関 句上を図りま		生活資	資金及び教育資	資金を低金	*************************************
	÷it Ui	1 ((2	まし	た。 活付付還 育付付罪 資付利	定度率間 金度率	T金 額 100万F 2.21% 7年以F	편 첫	金の融資実行	〒の <i>†</i> ≥ δ	め、協調倍率に	こ基づき、	金融機関に預託
	実施結果	貸任										2 21, 901
((活動指標)	新規	見貸	付件	 数				件	9	12	18
			高-	→低						<u> </u>		
	項目評価	4	T 3	_					評価の	理由		
	有効性	本 1										
	効率性	•	市は、貸付金の原資を金融機関に預託し、受益者である利用者が償還(費用担)していることから「4」としました。							が償還(費用負		
	公平性	● 市内に居住する勤労者であれば広く対象者となることから「4」としました							・」としました。			
	将来性		•				刊用件数は多 旧も見込まれ				 経済情勢 <i>の</i>)変化により、利
	総合評価			4						率を引き下げ、 継続したいと考		た件のもと勤労者 です。
	特記事項											

款 05労働費

項 01労働諸費

目 01労働諸費

事務事業番号

款 05労	働費		項	į 01	労働	諸費	目	01労働諸費	Ì	事務	事業番号	05010102
事	事業名	苕	5小4	枚市	勤党	おおき きゅうけん きゅうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう おおれ かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう はいまれる はいまれる はいままれる はいまま しゅう かいしゅう はいままれる はいまま しゅう	ンター補助	担当部署	署	産業経済部	工業・雇	用振興課
根	拠法令								-			
令和3	 年度決算額			4,	500	千円	項目評価		;	—————— 有効性		
	国道支出金					千円						
財源	地方債					千円						
原	その他					千円						
訳	— • • • •			4	ΕΛΛ			将来性	$\langle \cdot \cdot \cdot \rangle$	$\langle \rangle \rangle \rangle \rangle 3$	効率性	纵入哥压
	一般財源				500	千円						総合評価
争 美 須	遺(総計)				570	千円						A
	決算額			4,	500	千円						A
	人件費				70	千円				公平性		
事第	美の目的					、苫小牧市勤 ます。	助労者共済セ	ンターに対	し補助金	きを交付するこ	とで、中小	心企業の福利厚
	後の内容 17の目標 8 動業を	興及 労者	なび [±] 針共え	也域 斉セ	社会ンタ	の活性化し ーが行うst	こ寄与するこ	とを目的と する慶弔金	していま ・見舞金	₹す。本事業に ☆給付金事業や	より、(一	中小企業の振 財) 苫小牧市勤 号と余暇活動に
						指標	 名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
宝	施結果	加入	事 :	 業所	 数				事業所	481	499	500
	動指標)	給付							件	651	618	634
		ηн г.	,,,,									+
			古	\III.								
項	目評価		高-		4				評価の	理由		
		4	3	2	T	,				- 111 + - + +	-	
	有効性	•				厚生制度を	と持つことが	難しい市内に	中小企業	実施する福利原 の勤労者にと ^ら「4」とし	って、安心	、単独で福利 いして働くこと
	効率性	•			(一財) 苫小牧市勤労者共済センターによって、中小事業者単独より、スケルメリットを活かした福利厚生事業を可能としていることから「4」としまた。							
	公平性		•		市内中小企業であれば加入が可能ですが、令和4年3月末の加入事業所数か事業所となっていることから「3」としました。							事業所数が481
	将来性	•					人材確保のた。 ることから「			充実など働き	やすい職場	湯環境づくりが
総	合評価		F	1		よって、「		業主及び勤		「総合的な福利 副利厚生の充実	· · · · · · · ·	
朴 丰	 記事項											

款 05労働費 項 01労働諸費

目 01労働諸費

事務事業番号

事業名 根拠法令 令和3年度決算額 財源内訳 国 地方 の 他 一一般計) 事業費 (決算額 人件 数額 人件 動動 事業の目的 事業の目的 事業の目標	離安定	87 88 87 1 職を弁	, 377 , 377 , 786 , 377 , 409	千円 千円 千円 千円 千円 千円	項目評価	担当部署		産業経済部有効性	効率性	総合評価
令和3年度決算額 財源内別 国道支出金 地方債 その他 一般財源 事業費(総計) 決算額 人件費 事業の目的 事業の内容 SDGs17の目標	離安定	87 88 87 1 職を余	, 377 , 786 , 377 , 409	千円 千円 千円 千円 千円 千円	失業者等に対			公平性		A
財源 内部 単方債 その他 一般財源 事業費 (総計) 決算額 人件費 事業の目的 事業の内容 SDGs17の目標	離安定	87 88 87 1 職を余	, 377 , 786 , 377 , 409	千円 千円 千円 千円 千円 千円	失業者等に対			公平性		A
財源 地方債 その他 一般財源 事業費 (総計) 決算額 人件費 本の目的 事業の内容 SDGs17の目標	離安定	88 87 1 職を弁	, 786 , 377 , 409	千円 千円 千円 千円 千円				公平性		A
源 地方債 その他 一般財源 事業費 (総計) 決算額 人件費 事業の目的 事業の内容 SDGs17の目標	安定	88 87 1 職を弁	, 786 , 377 , 409	千円 千円 千円 千円 千円				公平性		A
内訳その他 一般財源事業費 (総計)決算額 人件費事業の目的事業の内容SDGs17の目標	安定	88 87 1 職を弁	, 786 , 377 , 409	千円 千円 千円 千円				公平性		A
訳 一般財源 一般財源 事業費 (総計) 決算額 人件費 上	安定	88 87 1 職を弁	, 786 , 377 , 409	千円 千円 千円 千円				公平性		A
事業費 (総計) 決算額 人件費 事業の目的 事業の内容 SDGs17の目標	安定	88 87 1 職を弁	, 786 , 377 , 409	千円 千円 千円					・就業機会の	A
決算額 人件費 事業の目的 事業の内容 SDGs17の目標	安定	87 1 職を余	, 377 , 409 余儀な	千円 千円 くされた		し、次の雇			- ・就業機会の	確保を図り
人件費 事業の目的 事業の内容 SDGs17の目標	安定	1 歳を弁	, 409 :儀な	千円		 し、次の雇			・ 就業機会の	確保を図り
事業の目的 事業の内容 SDGs17の目標	安定	職を弁	徐儀な	くされた		し、次の雇			・ 就業機会の	┃ 確保を図り
事業の内容 SDGs17の目標	安定					し、次の雇	用までσ.)短期の雇用・	・就業機会の	確保を図り
SDGs17の目標										作下の日ン、
SDGs17の目標										
8 magnit	Ι.,									
M		首欧妇	能体学	έ婺 . 陆鹿≒	道路の亀裂等の	の補修作業	を宝体			
V Y					旦崎の電袋寺で 路面の枯葉や!					
	3	公園砂	場管	理業務:	公園内砂場の	汚物等を除	去するた	とめに砂ふるし		
								核葉拾い等を実 対定及び伐採作		
)除雪、雨水栁		を実施
								上 院度調査、剪		
	8 1	公園区	、集極	対剪定・伐抗	※業務:公園	樹木(広葉	樹)の危	1) 険度調査、剪	『定・伐採作	業を実施
				 指標	名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
宝施結 里	新規		数 ×	 労働日数			人日	3, 510	3, 233	3, 181
(活動指標)		-							·	
	F	島→低								
項目評価			1				評価の	理由		
				離職を≤	余儀なくされ	た失業者や	 季筋労価	 h者に対し、次	アの雇用まで	の短期の就業
	1 - 1									「4」としま
┃ ┃ 有効性				した。						
有効性				Ī	があり、仕書	割合の高い	事業の発	≜注をとおして	て、お酔者の	短期雇用につ
		+		│ 緊急性 <i>セ</i>	ノッソストローロー				、、水明石の	ルエアリルモノコリー・ノー
有効性	•	•			いることから				、	/並み)/庄川川に ノ
		•		ながってし	いることから	「3」とし	ました。			
		•		ながってい 新規雇月 域職業訓練	いることから 用者の募集に 東センター運	「3」とし あたっては 営協会が開	ました。 <u>- 苫小牧</u> 設してい	な な公共職業安定 いる無料職業系	E所又は(一 紹介所の求人	社) 苫小牧地 申込みにより
効率性	•	•		ながってい 新規雇月 域職業訓練	いることから 用者の募集に 東センター運	「3」とし あたっては 営協会が開	ました。 <u>- 苫小牧</u> 設してい	文公共職業安定	E所又は(一 紹介所の求人	社) 苫小牧地 申込みにより
効率性 公平性	•	•		ながってい 新規雇用 域職業訓経行っており	いることから 用者の募集に 東センター運 り、広く参加	「3」とし あたっては 営協会が開 の機会を確	ました。 、苫小牧 設してい 保してい	な な公共職業安定 いる無料職業系	を所又は(一: 紹介所の求人 としました	社)苫小牧地 申込みにより 。
効率性	•	•		ながってい 新規雇所 域職業訓経行って 社会・経	いることから 用者の募集に 東センター運 り、広く参加	「3」とし あたっては 営協会が開 の機会を確	ました。 、苫小牧 設してい 保してい	女公共職業安定 いる無料職業紀 いるため「4」	を所又は(一: 紹介所の求人 としました	社)苫小牧地 申込みにより 。
効率性 公平性	•	•		ながってい 新規雇所 域職業訓経行って 社会・経	いることから 用者の募集に 東センター運 り、広く参加の 経済情勢の変	「3」とし あたっては 営協会が開 の機会を確	ました。 、苫小牧 設してい 保してい	女公共職業安定 いる無料職業紹 いるため「4」	を所又は(一: 紹介所の求人 としました	社)苫小牧地 申込みにより 。
効率性 公平性 将来性	•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		なが 新職業で 社 (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (9)	いることから 用者の募集に 東センター運 り、広く参加の 経済情勢の変 しました。 乗としての事	「3」としてはは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。 おいま はい にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいま	ま 、設保 ボしし ボしし ボルてて 雇 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	女公共職業安定 いる無料職業紹 いるため「4」	E所又は(一紹介所の求人としました。 基業の重要度	社)苫小牧地 申込みにより 。 も高まるため
効率性 公平性	•	• • •		なが 新職業で 社 (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (9)	いることから 用者の募集に 東センター運 り、広く参加の 経済情勢の変 しました。	「3」としてはは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。 おいま はい にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいま	ま 、設保 ボしし ボしし ボルてて 雇 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	な公共職業安定いる無料職業組 いるため「4」 目を創出する事	E所又は(一紹介所の求人としました。 基業の重要度	社)苫小牧地 申込みにより 。 も高まるため
効率性 公平性 将来性	•	• A		なが 新職業で 社 (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (9)	いることから 用者の募集に 東センター運 り、広く参加の 経済情勢の変 しました。 乗としての事	「3」としてはは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。 おいま はい にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいまり にいま	ま 、設保 ボしし ボしし ボルてて 雇 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	な公共職業安定いる無料職業組 いるため「4」 目を創出する事	E所又は(一紹介所の求人としました。 基業の重要度	社)苫小牧地 申込みにより 。 も高まるため
実施結果	新規	霍用人	、数×	*****	名					

款 05労働費

項 01労働諸費

目 01労働諸費

款 05労	働費		項	₹ 01	労偅	謝諸費	目	01労働諸費	•	事務	§事業番号	05010104
哥	事業名			通	丰雇	用促進対策	事業	担当部	署	産業経済部	『 工業・雇	用振興課
根	拠法令								•			
令和3	年度決算額				459	千円	項目評価			 有効性		
財	国道支出金					千円		_				
源	地方債					千円						
内	その他					千円		ᄻ	.///		***	
訳	一般財源				459	千円		将来性			効率性	総合評価
事業費	遺 (総計)			1,	163	千円						A
	決算額				459	千円						A
	人件費				704	千円				公平性		/ \
事第	美の目的)通年雇用(交付します		ため、東胆	振・日高	高・平取地域)	通年雇用促 進	支援協議会(
事業	 美の内容											
SDGs	17の目標											
8 ##### 8												
M		,	r -1 1	10Æ	⇔ 4.	、	も少え中生し	ナいフタケ	= 田 / 12 / 2	* 士 !	エロナフょ ょ	
										進支援事業を決 で設立した東原		
		雇用	月促;	進支	援協	議会に対し	し、負担金を	交付しまし	た。同様	協議会では、🏗	管内の季節労	が働者の通年
					、季	節労働者や	やその事業主	に対し支援	事業を写	尾施しました 。	(国の委託	事業、地域
		="	事	表)								
						北無	A		;; 4 / ⊥	D2左库	DO左座	D1左座
		`Z /	-=		*-	指標	·名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
	施結果 動指標)	週 年	F雇	11 1Ľ	剱				人	173	169	145
(/白	到1日1示/	<u> </u>										
			÷	, Irr								
項	目評価	4	高-	→低 「っ	1				評価の	理由		
		4	J	4								
	有効性	•					季節労働者 <i>の</i> していること			することで、 Eした。	労働者の雇用	用と生活の安
											切みまさせ	ロのませ
	効率性			│ │ │ │ │ 東胆振・日高・平取地域通年雇用促進支援協議会に負担金を交付し、国の委員会を表現である。 │ │								
		Ľ	L	L	L		か、「4」と					
	— 1.1					苫小牧公	共職業安定可	「管内の1月	 56⊞1:-	 居住し、通年	雇用化を日均	 岩す季節労働
	公平性	ullet								「4」としる		ᆸᄼᅮᄢᆀᆀ
		\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	委	動者の数け年	力減小傾向	におい =	ますが、季節さ	ど働者を取り	巻く状況はな
	将来性		•							Fg か、字即え 売が必要である		
						した。						
						<i>= \(\dagger \) \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ </i>	u +			_ =:	L 1-7	·
総	合評価		ļ	7						こで、雇用とst したいと考えて		凶られるこ
				•		^{1/3・} ひ、 天 7	水液因こ 建饬	し、平尹未	△ № 形にし	ノにいて行んり	C U · A Y o	
4.1						<u>I</u>						
光 丰	記事項	l										

款 05労働費

項 01労働諸費

目 01労働諸費

事務事業番号

示人し)5労賃] 質		埧	į UI	万售	謝諸費	<u>B</u>	01労働諸費	ŧ	<u></u>	§事業番号	05010105
	事為			苫小	ν牧ī	市障	害者雇用奨	起金事業	担当部	署	産業経済部	『 工業・雇	[用振興課
	根拠	法令											
令和	03年	度決算額				160	千円	項目評価			有効性		
Γ	₁₁	国道支出金					千円		•		\wedge		
	財情	地方債					千円						
	内	その他					千円						
	訳	一般財源				160	千円		将来性			効率性	総合評価
事	 - 業費	(総計)				301	千円						
Г		 快算額				160	千円						(<u>`</u>
		人件費				141	千円				公平性		
	事業(D目的									象者を期間の第 な雇用の促進を		労働者として雇
	DGs17	の目標 10 ^{2020年318} ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	めた (1) (2) (3) (4) 2 知	た () () () () () () () () () (が 象生とう内ラ 寸・い 労 プライン 金身	者働い就ア体	そ、引き続き が実施する が実施すること	き期間の定める障害者トラ 象者を)期間 用期間が終了	なく雇用し イアル雇用 の定めのな	た市内 奨励金の い労働者	で試行的に雇用の対象者を雇り者として雇用しない。	金を交付しま い入れた事業 していること	美所である
							 指標			単位	R3年度	R2年度	R1年度
	宝饰	結果	指標名 単位 R3年度 R2年度 交付人数 人 1 0								0		
	(活動		交付人数										
				高-	→仟								
	項目	評価	4	3						評価の	理由		
ſ		可効性	7	0		1 過去交付事業所において、現在も引き続き雇用されている例もあることから、 ©がい者の継続雇用について一定の効果はあると考えられますが、令和3年の対 付実績が1件であったことから、「1」としました。							
	交	协率性		•		国の「障害者トライアル雇用助成金」と連携することで、障害者の適性や能を見極め、新規雇用機会の創出を図り、その後安定雇用へとつなげる仕組みとなっていることから「3」としました。							
	4	公平性			•	ハローワークや市関係部署、関係機関と連携し周知を図っておりますが、国の 障害者トライアル雇用の活用が前提になることから「2」としました。							
	#	将来性			•		用を図って	ていく必要が	あることか	ら「2」	としました。		より支援の活
	総合	評価		()		ける障がし	ハ者雇用の促	進はますま	す求めら	られていること	とから、周知	oれ、企業にお Uを強化すると E図ってまいり
	特記	事項											

特記事項

							〔評価(主 頭					
款 0	5労働費	_	IJ	頁 01		謝諸費		01労働諸費			事業番号	05010106
	事業名				就	業支援事業		担当部	署	産業経済部	エ業・雇	用振興課
	根拠法令											
令和	13年度決算額			52,	829	千円	項目評価			有効性		
	財国道支出会	金				千円						
	源地方債					千円						
	内 その他			48,	032	千円		시파 다 사사			÷1 ÷÷ 44	
	訳 一般財源			4,	797	千円		将来性			効率性	総合評価
事	業費 (総計)			58,	463	千円						A
	決算額			52,	829	千円						A
	人件費			5,	634	千円				公平性		/\
<u> </u>	事業の目的					等の活躍促 ります。	進と雇用機会	の創出を†	ナポート	することによ	り、安定し	た雇用の確
SD 5 デェンダ	事業の内容 0Gs17の目標 0Smm 8 **********************************	1 2 3 4	すた職 得就 な す	苫る。人建・業就ツ※で出る、小こ 育設職チ業アーし産セ	牧と 成業場や意一部こ・ミ	で 、	技 1:若し事の市で業職し援能 若の人 成企、 、まま活 人職体 を業新 再たし 人職保 図の型 就、たか 材限保 図の型 就、たが がりに のり がいしょう	る就職先を育成事人を育成事人を表している。 ままい でき はいかい はいい はい は	を無 成し ・しス いー料 、た 近たの るやで 技。 隣。影 女パ	紹介するワー 術・技能の向 の学により というなどの 性をコンなどの	- クスポット 上のため、 学生を対象 - 	研修や資格取 に職場見学 復職を支援 職場実習を
						指標			単位	R3年度	R2年度	R1年度
	実施結果	_				事業 就職者			人	74	63	59
((活動指標)					業 就職			人	9	7	6
		就	業チ	ヤレ	ンシ	ジ支援事業	参加者数		人	94	39	241
		な	でし	こ就	職点	5援事業 5	就職決定者数	Ţ	人	14	12	17
	項目評価			→低					評価の	理由		
_	· X LI II IIII	4	3	2	1							
	有効性	•								ため、若者や 繋がっている		
	効率性		•	若者の地元企業への就職機会の創出や、労働力の掘起こし、人材育成と就マッチングなど一体的な支援で雇用に繋げる取組は、将来にわたってその対が見込めることから「3」としました。							ってその効果	
	公平性	•				し広く周知	事業の参加募集は、ホームページ、フェイスブック等インターネットを利用 なく周知したほか、ポスターや地元フリーペーパー活用し案内を図ったこと 5 「4」としました。					
	将来性	•					雇用情勢に応 か「4」とし		きめ細	かく見直すこ	とで、事業の	の効果が見込
	総合評価			4						雇用情勢を踏 組みを支援し		
	性包束语											

款 0	5労働費		項 0	1労賃	才計費	目	01労働諸費	事	殇事業番号	05010107
	事業名		介	護職	員就業支援	事業	担当部署	福祉	上部 介護福祉	业課
	根拠法令									
令和	3年度決算額		23	, 689	千円	項目評価		有効性		
	財国道支出金				千円					
	源地方債				千円					
	内 その他		17	, 900	千円		将来性		>効率性	
	訳 一般財源		5	, 789	千円		1寸木 庄		/ 刈平 圧	総合評価
事	業費(総計)		28	, 619	千円					A
Г	決算額		23	, 689	千円					A
	人件費		4	, 930	千円			公平性		/ \
1	事業の目的		よる剤	推職防	止の支援を		や市内の介護事業 、介護事業所への			
1	事業の内容									
O.)Ca17									
	OGs17の目標									
3 7470	D人に 8 報告がいる 経済成長も	1 :	か謹 リ	、材料	€保支援事 ӭ	業				
-4		:	介護京	尤業希	望者を人材	材派遣会社で	雇用し、基礎研修	及び介護事業	所での職場実	習を実施し
-						ハて、本人と	介護事業所の希望	が一致した場	合には、当該	事業所での
		用(')/	ジリナ	した。					
		2	介護 服	: 昌音	成支援事業	*				
							の介護事業所で一	定期間就業し	た者に対して	、研修受講
		要	した書	見用の	一部を助原	成しました。				
					 指標		単位	R3年度	R2年度	R1年度
(宝施結果	事業店	· 所雇用	1者数		名		R3年度 15	R2年度 15	R1年度 12
	実施結果 (活動指標)			月者数		名	人	15	15	12
		事業的助成。		月者数		名				
	(活動指標)	助成。				名	Д Д	15 63	15	12
		助成。	人数			:名	人	15 63	15	12
	(活動指標)	助成。	人数		介護人林		人 人 評価の 着、及び介護職員	15 63 D理由	15 34	12 31
	(活動指標) 項目評価	助成。	人数		介護人 め、「4」 最小限の	オの確保・定 としました	人 人 評価の 着、及び介護職員	15 63)理由 の技能向上が	15 34 効果的に図ら	12 31 れているた
_	(活動指標) 項目評価 有効性 効率性	助成。	人数		介護人 め、「4」 最小限の 「4」とし	オの確保・定 としました の経費により しました。 士事に興味を	人 人 評価の 着、及び介護職員。 、効果的な人材確 持つ方や、介護事	15 63)理由 の技能向上が 保・定着等が	15 34 効果的に図ら 図られている	12 31 れているた
_	項目評価有効性	助成。	人数		介護人 め、「4」 最小限の 「4」とし	オの確保・定 としました の経費により しました。 士事に興味を	人 人 評価の 着、及び介護職員。 、効果的な人材確	15 63)理由 の技能向上が 保・定着等が	15 34 効果的に図ら 図られている	12 31 れているた
	(活動指標) 項目評価 有効性 効率性	助成。	人数		介護人 め、「4」 最小」 のに のた であ 今後 のか	オの確保・定 としました の経費により しました。 士事に興味を とから、「4	人人人 評価の 着、及び介護職員。 、効果的な人材確 持つ方や、介護事」としました。 加に向け、介護人	15 63 つ理由 の技能向上が 保・定着等が 業所で勤務す	15 34 効果的に図ら 図られている る方が広く活	12 31 れているた ことから、
	(活動指標) 項目評価 有効性 効率性 公平性 将来性	助成。	人数		が が が が が が が が が が が が が が	すると 経ま にた 明、 要」 業 のと 所のと が でも か で で で で で で で で で で で で で で で で で	人人人 評価の 着、及び介護職員。 、効果的な人材確 持つ方や、介護事」とした。 加に向け、介護人 ないではない。	15 63 0理由 の技能向上が 保・定着等が 業所で勤務す 材の確保につ	15 34 効果的に図ら 図られている る方が広く活 いて継続した ともに、介護	12 31 れているた ことから、 用できる制。 取組が必要
	(活動指標) 項目評価 有効性 効率性 公平性	助成。	人数		が が が が が が が が が が が が が が	すと 経ま 事か 護「 のて ひと いまり まり かん かん かん かん かん かん かん でん かん	人 人 評価の 着、及び介護職員。 、効果的な人材確 持つ方や、介護事」としました。 加に向け、介護人 ました。	15 63 0理由 の技能向上が 保・定着等が 業所で勤務す 材の確保につるのとの	15 34 効果的に図ら 図られている る方が広く活 いて継続した ともに、介護	12 31 れているた ことから、 用できる制 取組が必要
	(活動指標) 項目評価 有効性 効率性 公平性 将来性	助成。	人数		が が が が が が が が が が が が が が	すと 経ま 事か 護「 のて ひと いまり まり かん かん かん かん かん かん かん でん かん	人人人 評価の 着、及び介護職員。 、効果的な人材確 持つ方もした。 加に向け、介護人 加にた。 の直接雇用に結び 業の有効性や効率	15 63 0理由 の技能向上が 保・定着等が 業所で勤務す 材の確保につるのとの	15 34 効果的に図ら 図られている る方が広く活 いて継続した ともに、介護	12 31 れているた ことから、 用できる制 取組が必要

款 05労働費 項 01労働諸費

目 01労働諸費

款 05万	働 質		埩	Į UI	万 悝	加諸賀	目	UI労働諸領	(事 榜	争某番号	05010108
事	業名		捋	用	ካ • !	魅力創造。	支援事業	担当部	署	産業経済部	『 工業・雇	用振興課
根	 拠法令											
令和 3	————— 年度決算額			38.	909	千円	項目評価			 有効性		
	国道支出金					千円	77-21	J		A		
財									/			
源	地方債				400	千円						
内	その他				100	千円		将来性			効率性	
	一般財源			9,	809	千円		13 26 17		\///	<i>7</i> 77	総合評価
事業費	 (総計)			44,	543	千円	1					
	 決算額			38.	909	千円	1					Ι Δ
	人件費				634					→ 公平性		
	八口貝	_		<u>J,</u>	004	111				<u> </u>		
事業	の目的						職場づくりを で広く周知し				戦者やUIJ	ターン希望者
	● 内容 17の目標	1]					ィング事業(IE 、りに取り組む				どの声明宏』	- ト ス F C 調本
211		3	就の人合のした。	マ材、制制に対して、対対の対対の対対が対対に対対が対対に対対に対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対	チェーチを発表しています。	ング支援 支援する 支援財事 明明いな のない採 のない	- や研修を 業 が た広く 問題 H H H H H H H H H H H H H H H H H H H	マッチングサ ミした。 険である市内 イング支援を	ナイト「 内企業等 と実施し	とまジョブ」	で、市内企	業の魅力や求ケットに対応
						指標	票名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
± :	施結果	離暗	訳方:	上等	加 语	改善事業		業所数	事業所	51	40	43
	心心未 動指標)	掲載				24077	~~~~	X1713X	社	427	308	156
(74)	动1口1水/								_			
		参加							事業所	15	50	54
T百	目評価		高-	→低					評価の	理由		
枳	ы вт іш	4	3	2	1				ат іш ол	- ≇Ш		
	有効性		•			企業の人	すい職場づく 材確保や苫小 [:] とから「3」	牧地域の魅	力向上に			
	効率性		•				業の働きやす! ることは、将:					
	公平性	•				広く周知	参加募集は、 したほか、ポ としました。					
	将来性	•					保・定着は深 内容運営を行					
総	合評価		-	1			市で働く魅力 ています。	を広く周知	し、人ホ		ナる取組を進	めてまいりた
特	記事項											

款 05労働費

項 01労働諸費

目 01労働諸費

款 05労	働費		項	₹ 01	労偅	諸費	目	01労働諸費	į	事務	§事業番号	05010109
哥	事業名	ŧ	ر مر	づく	り産	業人材育別		担当部等	署	産業経済部	『 工業・雇	用振興課
根	拠法令							•				
令和3	年度決算額				900	千円	項目評価			 有効性		
R+	国道支出金					千円		_		\wedge		
財源	地方債					千円						
内	その他				500	千円						
訳	一般財源				400	千円		将来性	$\langle \langle \langle \langle \rangle \rangle$	$\langle \rangle \rangle \rangle \rangle$	効率性	総合評価
事業費				1,	604	千円						
	決算額				900	千円						Ι Δ
	人件費				704	千円				公平性		^
事第	美の目的						に関連する優 寉保を図りま		育成を3	支援することに	こより、地元	就業及び地方
	集の内容 17の目標 8 ************************************		道	立苫	小牧	高等技術	金(MONOラ 専門学院の入 苫小牧市技能	校生(1年)		人当たり10万F しました。	円(授業料全	額免除者、
						指標	 名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
宝	施結果	型								4	-	
	動指標)											
			高-	→低								
項	目評価	4	3	2	1				評価の	理由		
	有効性		•			型励金が入校生の増加に直結するとは限りませんが、経済的負担を軽減すとで、入校の後押しをする効果が見込まれることから「3」としました。						
	効率性	•			申請者にとって申請にかかる負担が軽減されるよう、道立苫小牧高等技術専学院と連携し、効率的に奨励金の申請手続きを行っていることから、「4」とました。							
	公平性	•				道立苫小牧高等技術専門学院と連携し、入校生募集活動と合わせ本事業の周知を行っていることから「4」としました。 道立苫小牧高等技術専門学院の入校生は近年減少しておりますが、入校を促進						
	将来性	•				し、ものつ	づくり産業に	関連する人	材育成る	は近年減少しで を支援すること 4 」としまし <i>†</i>	とは、将来に	
総	合評価		ļ	4						地元定着と1 ン、入校促進る		
特	記事項											

	·働費		-		諸費		01労働諸費			養番号	05010110
	業名	雇	用調	整助	成等申請領	費用補助	担当部署	産業経済	部 緊急	急経済対策	兼給付金室
	拠法令 左京法等等		- 10	- 20	- m		,				
令和 3:	年度決算額 T同学士以会			226	千円	項目評価		有効性			
財	国道支出金		12,	400	千円						
源内	地方債				千円						
内	その他		Е	200	千円		将来性		効率	性	小人玩压
	┃ 一般財源			826 878	千円		//	1///			総合評価
争未复	覺(総計) ─── 決算額			226	チ円						Ι Λ
	大昇組 人件費			652	千円 千円			公平性			
	八計其		4,	UUZ	TO			771			
事業	美の目的					請にかかる社 継続を図りま	会保険労務士等/ す。 	、の代理申請	費用を补	補助する。	ことで、市戸
事業	美の内容										
SDG S	17の目標		中市市	ᄜᅲ	- ^ 体 の 由 =	キュー ム・ユ・フ 九	人口吟兴水上生,	の心理由語	* 世 四 ナ ነ		+-:: 44-七声[
	□ □						会保険労務士等々 を支給しました。	、の代理中語	i賀用を₦	補助りる!	当小牧 中産 と
報告がいも 経済成長も					307.12.						
11			象者 の「		調整助成金	金! 又は「緊	急雇用安定助成金	♀」の支給決	定を受(けた事業	者で、助成
							内にある事業者	-1 ** >>,,,,			H • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
		リク 福	动动	罗粹	生						
		첨		険労	務士等にす	支払った助成	金等の申請書類の)作成に要す	る経費ス	又は提出化	代行・事務
		첨	会保		務士等にす	支払った助成	金等の申請書類の)作成に要す	· る経費ス	又は提出化	代行・事務
		社 代理	会保	険労	務士等にす	支払った助成	金等の申請書類の)作成に要す	· る経費3	又は提出化	代行・事務
		社 代理 3 補	会保 に要 助金	険労 する 額	務士等に3 経費	支払った助成 30万円 補助)作成に要す	る経費ス	又は提出化	代行・事務
		社 代理 3 補	会保 に要 助金	険労 する 額	務士等に3 経費)作成に要す	· る経費3	又は提出化	代行・事務
		社 代理 3 補	会保 に要 助金	険労 する 額	務士等にま 経費 つき上限3	30万円 補助	率10/10				
		名 代理 3 補 1	会保理に要助金事業	験労る 額 に	務士等に 経費 つき上限3 指標	30万円 補助	率10/10	z R3年度		82年度	代行·事務 R1年度
	施結果	社 代理 3 補	会保理に要助金事業	験労る 額 に	務士等に 経費 つき上限3 指標	30万円 補助	率10/10				
	施結果 動指標)	名 代理 3 補 1	会保理に要助金事業	験労る 額 に	務士等に 経費 つき上限3 指標	30万円 補助	率10/10	z R3年度		82年度	
		3 補 1 補助金	会保要金業を	険する。福者は一件数	務士等に 経費 つき上限3 指標	30万円 補助	率10/10	z R3年度		82年度	
(活		3 補 1 補助金	会に 助事 支	険する。一件数	務士等に 経費 つき上限3 指標	30万円 補助	率10/10 単位 件	z R3年度		82年度	
(活	動指標) 目評価 	3 有 1 補助金	会に関する業のでは、金銭の金銭のでは、金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金	険する。一件数	務士等にま 経費 つき上限3 指標	80万円 補助	率10/10 単位 件	z R3年度 180 の理由	. R	82年度 144	R1年度 -
(活	動指標) 	3 有 1 補助金	会に関する業のでは、金銭の金銭のでは、金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金銭の金	験です 額者 (件数)	務士等にま 経費 つき上限3 指標 本補助金	30万円 補助 名 金の対象とな	率10/10 単位 件	z R3年度 180 の理由 は総額2億円	: R	R2年度 144 おり、市	R1年度 - 内事業者の
(活	動指標) 目評価 	3 補 1	会に関する業のでは、会に関する。	験です 額者 (件数)	務士等にまる 経費 つき上限3 指標 本業継続も	30万円 補助 名 全の対象とな と雇用の維持	率10/10 単位 件 評価 った国の助成金(を図ることに繋が	Z R3年度 180 の理由 は総額2億円で なったことか	: R を超えて ら「4」	82年度 144 145 1 としましま	R1年度 - 「内事業者の した。
(活	動指標) 目評価 	3 補 1	会に関する業のでは、会に関する。	験す 額者 (件数 1	務士等にまる本費力き上限3指標本業 地議本業 地議	30万円 補助 名 金の対象とな と雇用の維持 辻労士会日胆	率10/10 単位 件 つた国の助成金(を図ることに繋が 支部等関係機関	R3年度 180 の理由 は総額2億円3 べったことか :連携を図り	: R を超えて ら「4」	82年度 144 145 1 としましま	R1年度 - 「内事業者の した。
(活	動指標) 目評価 有効性	代理 3 相 1補助金 4 3 ●	会に関する業のでは、会に関する。	験す 額者 (件数 1	務経事に本業北つ本業北つ本業おうけんがきはずれるはずれるおうけんはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはずれるはない <t< td=""><td>30万円 補助 名 会の対象とは持 と雇用の組持 せごとから「</td><td>率10/10 単位 件 つた国の助成金(でを図ることに繋が を図ることに繋が を図ることに繋が</td><td>z R3年度 180 の理由 は総額2億円 べったことか :連携を図り</td><td>を超えて ら「4」 、補助対</td><td>82年度 144 おとし、 おとし 対象者へ</td><td>R1年度 - 内事業者の した。 効果的に支持</td></t<>	30万円 補助 名 会の対象とは持 と雇用の組持 せごとから「	率10/10 単位 件 つた国の助成金(でを図ることに繋が を図ることに繋が を図ることに繋が	z R3年度 180 の理由 は総額2億円 べったことか :連携を図り	を超えて ら「4」 、補助対	82年度 144 おとし、 おとし 対象者へ	R1年度 - 内事業者の した。 効果的に支持
(活	動指標) 目評価 有効性	代理 3 相 1補助金 4 3 ●	会に関する業のでは、会に関する。	険す 額者 (件) 1	務経つ事に本業北つ事本業北つ事はずまおおいますま <td>30万円 補助名 名 の対象維 日ら と 対 と 対 と 対 と が こ 規模・ 業種</td> <td>率10/10 単位 件 った国の助成金(でを図ることに繋が を図ることに繋が も」としました。 を問わず、市内(</td> <td>z R3年度 180 180 の理由 は総額2億円ないったことか ・連携を図り</td> <td>を超えて な「4」 である でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも</td> <td>22年度 144 かし おと がし おと おと おと おと も も り、し まる も り、し まる も り、し まる も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り</td> <td>R1年度 - 内事業者の した。 効果的に支援 或金等を活月</td>	30万円 補助名 名 の対象維 日ら と 対 と 対 と 対 と が こ 規模・ 業種	率10/10 単位 件 った国の助成金(でを図ることに繋が を図ることに繋が も」としました。 を問わず、市内(z R3年度 180 180 の理由 は総額2億円ないったことか ・連携を図り	を超えて な「4」 である でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	22年度 144 かし おと がし おと おと おと おと も も り、し まる も り、し まる も り、し まる も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り	R1年度 - 内事業者の した。 効果的に支援 或金等を活月
(活	動指標) 目評価 有効性 効率性	代理 3 相 1補助金 4 3 ●	会に関する業のでは、会に関する。	険す 額者 (件) 1	務経つ事に本業北つ事本業北つ事はずまおおいますま <td>30万円 補助名 名 の対象維 日ら と 対 と 対 と 対 と 関 に で 規模・ 業種</td> <td>率10/10 単位 件 つた国の助成金(でを図ることに繋が を図ることに繋が を図ることに繋が</td> <td>z R3年度 180 180 の理由 は総額2億円ないったことか ・連携を図り</td> <td>を超えて な「4」 である でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも</td> <td>22年度 144 かし おと がし おと おと おと おと も も り、し まる も り、し まる も り、し まる も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り</td> <td>R1年度 - 内事業者の した。 効果的に支援 或金等を活月</td>	30万円 補助名 名 の対象維 日ら と 対 と 対 と 対 と 関 に で 規模・ 業種	率10/10 単位 件 つた国の助成金(でを図ることに繋が を図ることに繋が を図ることに繋が	z R3年度 180 180 の理由 は総額2億円ないったことか ・連携を図り	を超えて な「4」 である でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	22年度 144 かし おと がし おと おと おと おと も も り、し まる も り、し まる も り、し まる も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り、 も り	R1年度 - 内事業者の した。 効果的に支援 或金等を活月
(活	動指標) 目評価 有効性 効率性	代理 3 相 1補助金 4 3 ●	会に関する業のでは、会に関する。	験す 額者 (件) 1	務経つ事にし古書上指本業北つ事た本業北つ事た新本業型型	30万円 補助 名 会の用 対象の 会を雇用 せたこ り 規対 で の は 対 の に 対 の に の に の に の に り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	率10/10 単位 中 ででは、 中 では、 中 中 では、 中 中 では、	で R3年度 180 の理由 は総額2億円で べったことか :連携を図り に事業所を有ら	を超えて な 「4」 、 補助文 で 「4」	22年度 144 りします 対象者 割間しました	R1年度 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
項	動指標) 目評価 有効性 効率性 公平性 将来性	代理 3 相 1補助金 4 3 ●	会に関する業のでは、会に関する。	験す 額者 (件) 1	務経つ事にした古大本業北つ事たあめ本業北つ事た新のまま型1ままま型1ままま2ままま </td <td>30万円 補助 名 の雇 対用 士と 模対 ウま と 労こ 規に ナし な持 胆「 種補 レた</td> <td>率10/10 単位 中 で図の助成金が を図ることに繋が を図ることに繋が を明としまいで、 を問わず、下実施した。 な感染症対応地方 な感染症対応地方。</td> <td>TR3年度 180 180 の理由 は総額2億円が に連携を図り に連携を図り に事業とから 創生臨時交付</td> <td>を超える を超「4」 でする。 でする。 でする。</td> <td>22年度 144 りしまる 調しました は は りしまる も は は は は は は は は は は は は は は は は は は</td> <td>R1年度 - 小事業者の した。 効果的に支持 或金等を活序 た。</td>	30万円 補助 名 の雇 対用 士と 模対 ウま と 労こ 規に ナし な持 胆「 種補 レた	率10/10 単位 中 で図の助成金が を図ることに繋が を図ることに繋が を明としまいで、 を問わず、下実施した。 な感染症対応地方 な感染症対応地方。	TR3年度 180 180 の理由 は総額2億円が に連携を図り に連携を図り に事業とから 創生臨時交付	を超える を超「4」 でする。 でする。 でする。	22年度 144 りしまる 調しました は は りしまる も は は は は は は は は は は は は は は は は は は	R1年度 - 小事業者の した。 効果的に支持 或金等を活序 た。
項	動指標) 目評価 有効性 効率性 公平性	代理 3 相 1補助金 4 3 ●	会に関する業のでは、会に関する。	 	務経つ事にした士費き本業北つ事たあめ項下取項項項項上指財方ののよでののののよでののののいのののののいのののののいののののののいのののののののいのののののののののいのの </td <td>30万円 補助 名 の雇 対用 士と 模対 ウし と が ・す イし りま お が ・す がま お が ・す がま が が が が が が が が が が が が が が が が が が</td> <td>率10/10 単位 中 ででは、 中 では、 中 中 では、 中 中 では、 中 では、</td> <td>TR3年度 180 180 の理由 は総額2億円が に連携を図り に連携を図り に事業とから 創生臨時交付</td> <td>を超える を超「4」 でする。 でする。 でする。</td> <td>22年度 144 りしまる 調しました は は りしまる も は は は は は は は は は は は は は は は は は は</td> <td>R1年度 - 小事業者の した。 効果的に支持 或金等を活り た。</td>	30万円 補助 名 の雇 対用 士と 模対 ウし と が ・す イし りま お が ・す がま お が ・す がま が が が が が が が が が が が が が が が が が が	率10/10 単位 中 ででは、 中 では、 中 中 では、 中 中 では、	TR3年度 180 180 の理由 は総額2億円が に連携を図り に連携を図り に事業とから 創生臨時交付	を超える を超「4」 でする。 でする。 でする。	22年度 144 りしまる 調しました は は りしまる も は は は は は は は は は は は は は は は は は は	R1年度 - 小事業者の した。 効果的に支持 或金等を活り た。
項	動指標) 目評価 有効性 効率性 公平性 将来性	代理 3 相 1補助金 4 3 ●	会に関する業のでは、会に関する。	 	務経つ事にした士費き本業北つ事たあめ項下取項項項項上指財方ののよでののののよでののののいのののののいのののののいののののののいのののののののいのののののののののいのの </td <td>30万円 補助 名 の雇 対用 士と 模対 ウし と が ・す イし りま お が ・す がま お が ・す がま が が が が が が が が が が が が が が が が が が</td> <td>率10/10 単位 中 ででであることに繋がる。 本の助に繋がる。 本の助に繋がる。 本の関係を関係を関係を関係をします。 を問からして対応地方の は感染症対応地方の は、実施がある。 新型コーナウイル</td> <td>TR3年度 180 180 の理由 は総額2億円が に連携を図り に連携を図り に事業とから 創生臨時交付</td> <td>を超える を超「4」 でする。 でする。 でする。</td> <td>22年度 144 りしまる 調しました は は りしまる も は は は は は は は は は は は は は は は は は は</td> <td>R1年度 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td>	30万円 補助 名 の雇 対用 士と 模対 ウし と が ・す イし りま お が ・す がま お が ・す がま が が が が が が が が が が が が が が が が が が	率10/10 単位 中 ででであることに繋がる。 本の助に繋がる。 本の助に繋がる。 本の関係を関係を関係を関係をします。 を問からして対応地方の は感染症対応地方の は、実施がある。 新型コーナウイル	TR3年度 180 180 の理由 は総額2億円が に連携を図り に連携を図り に事業とから 創生臨時交付	を超える を超「4」 でする。 でする。 でする。	22年度 144 りしまる 調しました は は りしまる も は は は は は は は は は は は は は は は は は は	R1年度 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -

款 05労働費 項 01労働諸費

目 01労働諸費

孙	の力制	貝		巧	į Vi	刀倒	油貝	F	1	Ⅵカ铡舶負		争作	50 手未供了	7	00010111
	事業	:名		就耶	敞氷	河期	世代就職	応援事業		担当部署		産業経済	部 工業	・雇用	甲振興課
	根拠														
		 度決算額			7	547	4 m	古口标准	:						
ᅲ							千円	項目評価	1			有効性			
	財庫	道支出金			5,	660	千円								
	源	地方債					千円								
	内	その他					千円								
	訳 _	一般財源			1	887	千円			将来性	\leftarrow	$\langle \rangle \rangle \rangle \rangle$	▶効率性		総合評価
															МОПВІЩ
事 :	業費(251	千円					V //			A
	決	:算額			7,	547	千円								A
	人	.件費				704	千円					公平性			
	事業の	目的										った就職氷河 安定的な就職			、一人ひとり 。
	事業の DGs170														・体験などに 足産業への就
	1		討 1 2 3	北職 え 2 章 3 耶	ド河 キャ 資場	リア 等の 見学	。 代支援内4 コリラ ・ の開拓 の開拓								
							指標	名			単位	R3年度	R2年	 度	R1年度
	中 ₩4	± =	就職	北老地	<u></u> Ят		7.1.1.1				人	15	_		_
	実施組 (活動		기가나다	W - D 9	<u> </u>							10	-		
	(/口到)]	日1示/													
	TE C.			高-	→低						=== /== ==	TIII			
	項目記	半1曲	4	3	2	1					評価の	埋田			
	有	効性	4 3 2 1 本事業は、キャリアコンサルティング、資格取得、職場見学という一般のほか、ニーズに合わせた単発の支援も可能であり、就職氷河期世代のの希望にあった支援であることから「4」としました。												
	効	率性	•				地域の人		へ 対	k河期世代(、建設業など につなげてい
	公	平性			•		,	可期世代のう	支接	 爰として、対	— — 対象者の	の年齢等が限	 定されて	いる	ことから、
	将	来性		•				えて、企業化							業につなげる がることから
	総合詞	— —— 评価		F	1		引き続き てまいりき		支技	── <u>──</u> 爰と連携し、	就職力	── ─── k河期世代を	 含めた求	職者.	支援を継続し
	特記	事項													

款 05労働費 項 01労働諸費 目 02労働福祉センター費 05010201 事務事業番号 事業名 労働福祉センター施設整備 担当部署 産業経済部 工業・雇用振興課 根拠法令 0 令和3年度決算額 千円 項目評価 有効性 千円 国道支出金 千円 地方債 源 内 その他 千円 将来性《 効率性 千円 総合評価 一般財源 0 千円 事業費 (総計) 決算額 0 千円 人件費 0 千円 公平性 事業の目的 労働福祉センターの施設・設備について、故障や機能低下に伴う修繕を行います。 事業の内容 SDGs17の目標 8 報告がいる M 労働福祉センター施設・設備に係る整備・修繕等 指標名 単位 R3年度 R2年度 R1年度 修繕工事等 件 2 実施結果 (活動指標) 高→低 項目評価 評価の理由 4 2 3 1 老朽化した施設の修繕にかかる費用を備えることが必要であることから「3」 有効性 としました。 令和3年度は指定管理者の適切な施設の維持管理により、市による修繕の必要 効率性 がなかったことから「4」としました。 施設の整備・修繕に伴い、利用する市民の利便性の向上や安全性の確保が図ら 公平性 れるため「4」としました。 将来性 引き続き、施設の整備・修繕が必要であることから「4」としました。 労働福祉センターは、働く市民の労働環境の安定と生活の向上を目指す会議研 修等の活動の場を提供しておりますが、建設から40年以上が経過し、設備の老朽 総合評価 化に伴い、引き続き整備・補修に備える必要があります。 特記事項

事務事業評価(主要事業レビュー) 款 05労働費 項 01労働諸費 目 02労働福祉センター費 05010202 事務事業番号 事業名 労働福祉センター補償金 担当部署 産業経済部 工業・雇用振興課 根拠法令 61 令和3年度決算額 千円 項目評価 有効性 千円 国道支出金 地方債 千円 源 内 その他 千円 将来性。 効率性 一般財源 61 千円 総合評価 事業費 (総計) 624 千円 決算額 61 千円 人件費 563 千円 公平性 労働福祉センターの指定管理者に対し、新型コロナウイルス感染症対策に伴う利用料等の減収 事業の目的 分を補償することにより、感染拡大防止及び指定管理施設の安定運営を図ります。 事業の内容 SDGs17の目標 8 89886 M 新型コロナウイルス感染症の影響による労働福祉センターの休館や利用制限等による利用料金 等の減収分について、指定管理者へ補填しました。 指標名 単位 R3年度 R2年度 R1年度 減収補填額 円 61,000 470,000 実施結果 (活動指標) 高→低 項目評価 評価の理由 4 2 3 1 新型コロナウイルス感染症拡大の防止及び指定管理施設の安定した運営として 有効性 の目的を達成していることから「4」としました。 効率性 必要経費を指定管理者へ補填したことから「4」としました。 市の指定管理施設における指定管理施設補償金の一環であることから「4」と 公平性 しました。 指定管理施設への新型コロナウイルス感染症の影響による減収を補填する臨時 将来性 的な事業であることから「1」としました。 評価項目のとおり、施設の利用制限等に対する補填として目的に適った事業を 総合評価 実施しました。

特記事項